

# 「8月5日はエイト祭！エイトリアンカップ・ミニ&RX-8「エイトの日」

## 「ファミリーミーティング」イベントレポート（2007年8月5日実施）



レーシングチーム エイトリアン(RTE)  
代表 エイトリアン

レーシングチームエイトリアン(以下 RTE)として、初のミーティング併催での走行会イベント、通称エイト祭が無事終了致しましたので、以下に報告致します。マツダ株式会社様を始め、ご出展いただいたショップ各社様、ご協賛いただいた企業様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

< 動員人数他 >	
走行会	: 73 台予定中 71 台参加。同行者含め約 120 人。
ミーティング	: 120 台予定中 110 台参加。同行者含め約 240 人。
ショップ	: 10 社参加。12 台デモカー。ショップスタッフ約 40 名。 ( 有限会社 RE 雨宮/プロスタッフ アールマジック/株式会社オートエクゼ/スーパーオートバックス千葉長沼店//オーバードライブ/株式会社 ディーテック/ナイトスポーツ株式会社/パンスピード有限会社/有限会社 レッグ( LEG MOTOR SPORT )/有限会社 レボリューション (50 音順/敬称略) )
RTE スタッフ	: RX-8 3 台 16 名
合計	: RX-8 <b>196 台</b> 入場者数 <b>約 420 名</b>
主催	: レーシングチームエイトリアン ( RTE )
共催	: RX-8 オーナーズクラブ RX-8 Rotor Router ( R - 3 )
協賛	: マツダ株式会社 株式会社タカラトミー/株式会社プロジェクト・ミュー



当初心配された天候ですが、前日までの天気予報を良い意味で裏切り・・・いや裏切り過ぎ、猛暑・酷暑という表現が適する程の天候でした。ミーティング日和とも言えますが、走行会としてはかなり厳しいコンディションでした。幸いにして熱中症で倒れるという方はいらっしゃいませんでしたが、その一歩手前という方はスタッフも含め、だいぶ見受けられました。好天による日差しというものは想定内で、日よけのテント設備や休憩場等の準備はしていましたが、来場者全員をフォローするには不

十分であり、来年以降の大きな課題を残すこととなりました。

また、我々 RTE は、真剣にモータースポーツを楽しみたいという強い意志の表明として、2007年7月に JAF 加盟クラブとなりました。今回のエイト祭は、JAF 加盟クラブ RTE としての初めての主催イベントであり、かなり重要な位置づけでした。

幸いにして事故もなく、無事終了したことが何よりでした。また、現在集計中の参加者向けアンケートの回答を見ても、暑さという課題以外では概ね好評で、また参加した



い、また来年もやって欲しいといった要望も多く、相当の成功の手応えを感じました。特にミーティングは手探り状態での企画・運営であったため、成功の喜びはより大きいものでした。

### 前日準備～走行会当日～受付

今回のエイトリアンカップでは、サーキットを走行しない方が参加者となる、ミーティングイベントが併催されます。ミーティングのメインイベントの一つに、マツダのRX-8 開発者によるトークショーがあり、そのステージの設営や、日よけ用のテント設営、駐車場のライン引き等やるべき作業が山積しており、現場設営監督の緑の彗星(?)の指示の下、前日設営スタッフが必至に汗を流しながら作業を実施します。当日、スタッフはそのまま筑波サーキット脇ペンションモナークに宿泊し、翌日に備えます。

イベント当日の朝に、宿泊していないスタッフ及び RTE メンバーがモナークに合流し、朝のミーティングを実施します。このミーティングで全員の顔合わせと各自の役割を再確認です。そして本日の一番の目標、「一切の事故なく、全員が無事帰宅できること」を私、エイトリアンから全員に伝え、ミーティング終了・解散となります。

ミーティング解散後、スタッフがコース 1000 に到着してから、前日に準備が行えなかったショップコーナー、縁日コーナー等の会場設営作業を行います。準備作業がほぼ完了し、6:00 の走行会参加車両入場時刻となると、続々と車両が入場してきます。

当たり前ですが、入場する車両はすべて RX-8 です。毎回のことなのでもう見慣れた感もありますが、RX-8 というクルマの懐の深さを強く意識せざるを得ません。初心者からベテランまで、それぞれがそれぞれのレベルでスポーツ走行を楽しめるクルマだからこそ、ここまで盛り上がるのだと思っています。RTE として、少しでもそのお手伝いをすることができ、本当に幸せなことです。



走行会では、走行会クラスが 47 台、レースクラスが 11 台、そして初心者クラスが 13 台の合計 71 台が集まります（当日キャンセルが 2 台あったため、73 台の予定が 71 台となりました）。全ての走行枠で同時コースインを 12 台を上限にし、クリアラップをより取りやすくしました。また、初心者クラスについては、サーキットを走りたいというオーナーの支援をコンセプトとしています。具体的には、参加費をより安く、そして講師による特別ドラマを実施することで、できるだけサーキット走行への敷居を低くします。

これは、RTE のミッションとして我々が考えている「モータースポーツ愛好者の裾野を広げる」ということを具現化した一つの形です。



受付は、レースクイーンも務める、mini さん・みきぼんぷさんが浴衣姿で参加者を迎えます。この浴衣のチョイスはかなり好評で、メディアの取材や参加者の方から撮影を依頼されることが非常に多かった様です。なお、コスプレや衣装は決して主催者の趣味ではありません。ただ、参加者から非常に好評だということもありますので、今後も趣向を凝らしていく方向で企画します。参加者の方からの要望が多いので、いや、ホントに多いので・・・。

走行会参加者の受付は、どうしても行列ができてしまうものですが、皆さんにも協力いただき、非常にスムーズに流れていました。この受付で、マツダ様よりご提供いただいた RE40 周年記念のシリコンバンド、及びステッカーも配布しました。皆さんちゃんとイベントの開催期間中にこのシリコンバンドを装着してくださって、さらにイベントとしての一体感が生まれたように感じました。

そしてレースの実況中継やトークショーの司会等を務めて下さったのは、マツダスピードカップ サ

ーキットトライアルやマツダパーティレース等でおなじみの、ズッピーこと図師英嗣さんです。ズッピーによる笑いもアリ何でもアリのトークが、イベントを大いに盛り上げました。惜しむらくは、場内の音響設備があまり良くなかったため、ちょっと聞こえづらい点もあったということでしょうか。次回以降の大きな課題です。

初心者クラスの講師としては、前回同様パーティレースチャンピオンドライバーの、D テクニック加藤彰彬さんを迎えました。初心者クラス参加者には、速く走るということよりも、安全にそして楽しく走るという点を学んで欲しく、加藤さんはそういった観点での講師として最適な方です。今回、ミーティングだけに参加された方でサーキット走行に興味がある方は、ぜひお気軽にエイトリアンカップ初心者クラスに参加してみてください。

これら協力者に支えられ、今日一日のエイトリアンカップが始まります。

### ミーティング参加者入場・ミーティング会場

走行会参加者が準備を完了し、ドライバーズミーティングが終了する頃からミーティング参加者の車両の入場開始です。筑波サーキットコース 1000 のレイアウトの都合上、走行会参加車両のコースイン・アウトのタイミングとぶつかります。ミーティング参加者には目安となる入場時間はありましたが、走行会と異なり、「遅刻」という概念がありません。そのため、朝から晩までイベントが開催されている限り、入退場の車両が交錯することになり、事故の可能性もその分高まるため、非常に緊張を強いられました。

幸いにして、誘導スタッフの尽力及び参加者の皆さんの協力により、事故はもちろんのこと、特にトラブルらしいトラブルも発生しませんでした。皆様のご協力に感謝します。



ミーティング参加者用の駐車場では、車両の色別駐車を実施しました。よりミーティングらしさを出せればという目的で実施しました。運用面ではかなり課題も多かったのですが、スタッフと参加者有志の協力を得てなんとか実現できました。その甲斐あって、参加者からも駐車場が壮観で良かったという声が多く、やって良かったと本当に感じています。また、110 台も RX-8 が集まれば当然のことかも知れませんが、RX-8 で採用された(廃止色含む)全色が勢揃いし、これには私もちょっと興奮を覚えました。マツダやショップの方も含め、黄色・ノルグリ・トゥルーレッド・ストーミーブルー等が全て揃うのを見たのは初めてだったのではないのでしょうか。



なお、この日にはまだ発表前である RE40 周年記念の RX-8 特別限定車の展示も、特別に行っていました。まだ誰も見たことがない、シークレットカーをエイト祭にだけ公開することを許可いただいた、マツダ株式会社様には深く御礼申し上げます。

参加者の方も興味津々で写真撮影等をされていました。マツダの矢倉様より「8月8日になるまで、Web や blog 等で公開しないでください。」といったお願いがあり、8日になるまで皆さんウズウズされていたのではないのでしょうか。私が知る限り、blog 等で当日より前に公開された方はいらっしゃらなかった様で、参加者の方のモラルの高さに感激しました。



また、ミーティング駐車場ではドレスアップカーの展示も行いました。ある参加者の方からの要望で企画したのですが、カスタマイズ度の高いエイトを一箇所に集め、展示するというものです。コンテスト形式ではなく、あくまで展示だけに留めましたが、こちらも好評だった様です。このコーナーでは、ワイドボディやバイナルグラフィック、ガルウィング、もはやRX-8とは誰も見抜けないほどカスタマイズされた車両などが集まり、RX-8の可能性について一つの提案を行っていました(RX-8のデザイナーの前

田氏は、ドレスアップカー展示コーナーの車両についても複雑な表情にてコメントをされていましたが、ここでは敢えて割愛します)。

RX-8も発売されて4年が経過し、カスタマイズという方向でのベクトルもさらに進む可能性が高いです。今後はドレスアップコンテストも視野に入れて運営していく予定です。



このほかに、10個あるピットでは参加ショップによる物品販売、チューニング相談会等を実施していただきました。特價商材も用意していただくなど、各ショップからの強い協力もあり、会場は大いに賑わいを見せていました。

ただ、主催者側として特價品の案内が十分にできていなかったことが大きな反省点でした。前述した音響設備についての課題が主たる要因ですが、次回開催時にはこの点を強く改善し、もっとショップからの情報を適宜発信できる

様にしたいと思います。

そしてファミリーミーティングということで、お子様にもぜひ楽しんでもらえればということで、小さいながらも縁日コーナーを作りました。

スーパーボールすくいや水ヨーヨーすくい、輪投げなどを手作りで用意しました。正直、こんな素人丸出しの企画で大丈夫なのか？お子様が楽しんでもらえるだろうか？そもそも来てもらえるのだろうか？と不安でいっぱいでしたが、開始と同時に行列ができるほどの人気であったのがとても印象に残りました。



お子様向けにはこんなのが欲しい、といったアイデア等がありましたら、どんどんお寄せください。前向きに検討させていただきます。

## 開会式・トークショー



駐車場に建てた仮設ステージでは、参加者向けの開会式やRX-8開発者によるトークショーが行われます。トークショーでは、まさにメインでRX-8の開発を担当したと言っても良い、プログラム開発推進本部 主査 片淵 昇氏、そしてデザイン本部 チーフデザイナー 前田 育男氏という非常に豪華なメンバーをマツダ様よりアサインしていただきました。

開会式では主催者のRTE代表 エイトリアン、及び共催であるR-3代表那由他氏、それからマツダ様からの挨拶が行われ、本日のミーティングのスタートを切ります。



トークショーはズッピーの司会進行により、事前に参加者から募った質問や、当日その場で開発者のお二方に聞きたいことを質問する形を採りました。

質問内容として非常に際どいものも数多くあったにも関わらず、片淵さんはきちんと際どい回答をして下さり、とても濃い内容でした。特に参加者の皆さんが最も聞きたいであろう、次期ロータリー車についての驚くべき発言もあつたりと、炎天下の中我慢した甲斐もあつたのではないのでしょうか(当日参加した方だけの特典ということで、内容は記載致しません)。

このトークショーは言うまでもなく参加者の方から大絶賛であり、今後も是非とも継続的に実施していきますが、マツダ様の支援に大きく依存してしまいます。これは継続的に RTE として依頼していく所存です。

トークショーの後にはお子さま限定のジャンケン大会を実施しました。ジャンケンプレゼントはなんと片淵さんです。片淵さんを使ってしまうのは、日本広しと言えども、エイト祭くらいなものでしょう・・・。

商品は、タカラトミー様からご協賛いただいた Q ステアという手のひらサイズのラジコンカーです。もちろん車種は RX-8 です。それからマツダ様からご提供いただいた、ZoomZoom のトートバックになります。みんな真剣で、商品を獲得できず泣き出してしまう子もいましたが、マツダ広報部の矢倉さんの計らい等もあり、無事終了することができました。

## コースイベント(走行会・レース)



コースイベントでは、クラス分けを前述の通り、走行会クラス、レースクラス、初心者クラスとしています。走行会クラスは、自己ベストタイム別に ABCD 組の 4 組に走行枠を分けます。エイトリアンカップは RX-8 のワンメイクであるため、タイム順に分けることでクリアラップを取りやすくなります。そして今回はさらに、スーパーラップという、同時コースイン台数を 6 台までとした、クリアラップ取り放題の走行時間も設け、より自己ベストタイムを出しやすい走行枠も設けました。

そしてまだレースは怖いけど、シグナルスタートはやってみたいという方向けに、スタート練習付き模擬レースのオプションを設けました。あくまで「模擬」であり、表彰やタイム測定等はいりません。グリッドに並び、シグナル点灯 消灯でスタートする、あくまでスタートを楽しむための企画・・・でしたが、頭では理解できても本能がそれを許さなかったのか、サイドバイサイド、イン攻め等、結果的にほぼレースと同様の展開になっていました。

初心者クラスについては、ペースカーによる先導付きでまずはコースに慣れてもらい、その後にフリー走行で走ってもらうという内容としました。前回のコース 2000 でのエイトリアンカップでは、初心者クラスの集まりはイマイチだったのですが、今回はキャンセル待ちが出る程の人気ぶり。やはりコース 2000 は怖いという心理が働いたのでしょうか。

そのような「サーキットは怖い」と思っているオーナーにスポーツ走行の楽しさを少しでも味わってもらいたいというのがこの初心者クラスのコネプトですので、今回はかなりの成功だったと感じています。特に初心者クラスについては、走らない時間に一人でポツンとならな



い様に、という点にも力点を置いています。サーキットに行く仲間がいることで、より楽しさや目標を得ることができるからです。D テクニック加藤さんにはこの点についてもフォローをお願いしており、初心者クラスの方だけではなく、参加者全員に積極的に声掛けをしていただくなど、極力一人である人を少なくする様にしています。

サーキットでは仲間やライバルができると、楽しさも倍増するだけではなく、スキルもどんどん上がっていきます。参加者の方も、積極的に周りの方や、スタッフ、講師にお声掛けください。



そしてレースクラスです。本当は自分も出たかったこのレースですが、残念ながら今回は運営に徹するために裏方です。RX-8 のレースでは、パーティレースという JAF 公式レースがありますが、RX-8 GrandPrix と大仰なネーミングをしたエイトリアンカップでのレースは、いわゆる草レースです。レギュレーションもやや緩めで車両改造度もかなり異なっているなど、ドライビングスキル以外の要素も大きく勝敗に関わってきます。

本日のフリー走行全てを予選と扱い、決勝は予選結果(ベストラップ)の順にレース参加車両がグリッドの位置に停まります。そして浴衣姿のレースクイーンがシグナル点灯までの残時間パネルボードを提示し、コントロールタワーで5秒前のパネルが掲示されたあと、赤いシグナルが点灯 消灯の合図で全車一斉にスタートを切ります。この瞬間は、何度見ても緊張します。



第一コーナーにあたかも隊列を整えているかの様にレース車両が進入していきますが、これはパレードランではなくレースです。お互いにインやアウトから抜くタイミングを見計らいながら、ギリギリのバトルを繰り広げていきます。コース 1000 は広いコースではないため、抜くポイントは自ずと決まってきます。

2番手の RTE さわじい選手が、トップの RTE re\_arai 選手をヘアピ

ンで抜いた瞬間はまさに見事の一言でした。そのほかにも RTE たるみ選手が3人抜き達成など、さすがパーティレーサーと思える内容でした。また、このレースで5人が本日のベストラップを更新するなど、非常にクリーンなレースであったことが伺える結果が出ており、主催者としてもホッとしました。

レース終了後、上位3名がコース上でシャンパンファイトとギャラリーからの祝福を受けます。



用意したシャンパンが見つからず、エアシャンパンでシャンパンファイトを行うというハプニングはありましたが、入賞した3名の表情を見ていただければ、そのうれしさが伝わってくると思います。

自分が出られないことがいかに寂しいか、本当に痛感しました・・・。

### コースイベント(ショップデモカー同乗・タイムアタック)



もう一つのコースイベントの目玉として、ショップデモカーの参戦があります。

同乗走行は時間も限られているということもあり、先着順による募集をかけたところ、受付開始のかなり前からものすごい行列が発生し、用意したチケットも一瞬で捌けてしまいました。なお、同乗走行とは言ってもサーキットで走行する以上、普通のパレードラン的な走行ではせっかくのデモカーの真価がわかりません。ですので、もちろん全開スポーツ走行での同乗走行となります。ハードなプレー

キング、コーナリング中の横Gなどを、デモカー+専任ドライバーによるデモランは、非常に貴重な体験だったのではないのでしょうか。幸運にもデモカーに同乗できた方は皆さん非常に満足されていた様です。

同乗走行は、RE 雨宮、R Magic(銀八)、オートエクゼ、オーバードライブ、ナイトスポーツ、パンスピード、LEG、レボリューションの8社のご協力により行われました。

続いてショップデモカーによるタイムアタックです。タイムアタックはショップのキャンパンを背負っているデモカーによるアタックであり、どのショップからもピリピリとした本気オーラが伝わってきていました。一番驚いたのは、どのショップもその車両の専任ドライバー(プロドライバーも含む)が同行していたことです。ここまで本気に対応していただいて、主催者冥利に尽きます。



リザルトは以下となります。

Ps	NR	氏名	ベストラップ	トップ差
1	25	パンスピード RX-8 タイムアタック号	38.812	
2	22	R Magic ピンク5号	40.363	1.551
3	27	レボリューション RX-8	40.865	2.053
4	21	RE雨宮 NOS 8	42.198	3.386
5	26	LEG SPORT 青8マン	42.792	3.980
6	23	R Magic 銀八	44.262	5.450
7	24	odula DIREZZA RX-8	44.526	5.714

それぞれマシン仕様も異なるため、単純なタイム比較はできませんが、さすがデモカーは違う・・・と思えるタイムが続出し、非常に刺激を受けました。特にパンスピードのタイムについては、既にRX-8のタイムとは思えない内容であり、TC1000のコースレコードに迫る勢いです。

予想していたよりも大いに盛り上がったショップ対抗タイムアタック。今後も定期的にこのような形が行える様に企画するつもりですので、参加ショップの皆様、ご協力をよろしくお願い致します。



全てのイベントが終了し、エイトリアンカップの表彰式となります。

メインステージに於いて、司会のズッピーのもと各クラスの表彰が行われます。レースクラス、More クラス、Light クラス、AT クラス、STD クラスでの表彰です。

各クラス、6位までもしくは参加車両の半分まで表彰対象となり、盾・トロフィーが授与されます。エイトリアンカップは、公式記録が残せる JAF 戦ではありませんが、ベンチマークサーキットである筑波サーキットを舞台にした RX-8 ワンメイクの走行会であることから、事実上の日本最速決定戦と勝手に位置づけ、参加者のモチベーションを高めていると自負しています。

そのため、今後もクラス分けと表彰を継続し、より皆さんが目標の設定とその達成という喜びを味わえる様に微力ながら協力させていただきたいと思えます。

表彰が終わり、続いて皆さんお待ちかねのジャンケン大会です。エイトリアンカップでは、ショップや企業各社からの豪華協賛品が多く、非常に強く感謝しています。それら豪華景品の争奪戦が、ジャンケンというフェアな闘いで実施されます。

ご協賛企業は以下となります。この場を借りて深く御礼申し上げます。

マツダ株式会社様

<http://www.mazda.co.jp/>

- ・ RE40th シリコンバンド
- ・ RE40th ステッカー
- ・ ZoomZoom トートバック

株式会社タカラトミー様

<http://www.takaratomy.co.jp/>

- ・ Q ステア RX-8 × 6

株式会社プロジェクト・ミュー様

<http://www.project-mu.jp/>

- プレーキパッド
- ・好きな銘柄 1 台分 × 1

<ショップ>

有限会社 RE 雨宮様

<http://www.re-amemiya.co.jp//>

- ・ RE SuperG for NA ENGINE OIL 0W-30 × 3
- ・ RX8 FAN CONTOROLLER RELAY × 3

- ・ RE 雨宮 RACING BOOK × 5
- ・ RX-8 STABILIZER F/R SET ( 40 %off) × 1
- ・ 新商品 2 層式アルミラジエーター × 1



プロスタッフ アールマジック様

<http://www.rmagic.net/>

・RX-8用 CPUチューン【To Bounds CPU8 LIM】

株式会社オートエクゼ様

<http://www.autoexe.co.jp/>

・プラグコード × 1

スーパーオートバックス千葉長沼店様

<http://naganuma.autobacs.jp/>

・エンジンオイル クオリタス(Dew of Gold) × 1

・エンジンオイル クオリタス(Dew of Silver) × 1

オーバードライブ様

<http://www.odula.com/>

・ラムエアインテーク M × 1

・OMP レーシングシューズ × 1

・レスポンプパイプ × 1

株式会社 ディーテック様

<http://www.d-technique.co.jp/>

・TD リヤスポイラー × 1

・エクストラブルーワイドミラー × 1

ナイトスポーツ株式会社様

<http://www.knightsports.co.jp/>

・エンジンオイル・ロータリーパフォーマンス 4L缶  
+ 1L缶 + レーシングオイルフィルター のセット × 3

パンスピード有限会社様

・RX-8 GT フロントバンパースポイラー × 1

LEG MOTOR SPORT様

<http://www.leg-sport.com/>

・Hi-Spec トーコンロックブッシュ × 1

有限会社 レボリチューション様

<http://revo-tune.jp/>

・トーコントロールリンク × 1

・トーコントロールブッシュ × 2

(50音順)

ジャンケン大会が終わり、記念撮影を実施し閉会式の時間となったが、急遽天候が怪しくなってきたため、終了の挨拶のみに留め、エイト祭の全てが終了しました。

参加者の退場、及び会場の撤収までをなんとか終わらせた後に、今日のあの天気はなんだったのか？と思える程猛烈な嵐となりました。激しい豪雨、雷鳴、突風等、イベント中に起こっていたらちょっと危険なほどの激しさでした。参加者の皆さんの思いが天気を持たせてくれたのかも知れません。

参加者皆さんの強い意志、想いをこれからもエイトリアンカップにぶつけてください。それだけが、私の願いです。

## イベントを終えて

エイトリアンカップではいつも「挑戦」をキーワードにして、常に成長戦略を採ってきました。今回は一つの実験ではありましたが、走行会・ミーティング併催を実現し、事故もなく無事終了できたことは本当に嬉しく感じています。ただ、やはりミーティング併催についてはスタッフの負荷も高く、次回以降に多くの課題を残したのも事実です。

次回の開催については、このたくさんの課題をクリアできるかどうか自信がなかったため、どうしようか悩んでいました。ですが、来年もまたやって欲しい、そういう声の内輪だけではなく、ミーティング参加者やショップの関係者の方からもいただいたことで、絶対にやってやる！という決意をしました。

こういった暖かい言葉は本当に励みになります。

私たち RTE は、常に参加者の視点に立ったイベントを企画し、「RTE 主催のイベントだから参加しよう」と思ってもらいたくのが一つの目標です。走りでもイベント主催のどちらに於いても「強い」チームを目指します。

次回以降も、皆さまのご支援を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

RTE 代表 エイトリアン



# 走行会リザルト

Ps	クラス名	クラスPs	NR	車名	氏名	ベストラップ	トップ差	クラストップ差
1	Light	1	22	TYPE-S	あ～るXハチ おおかみ号	43.095	0.000	0.000
2	More	1	19	TYPE-S	RTE てきどん201	43.402	0.307	0.000
3	Light	2	24	TYPE-S	RTE ドコデモ8	43.541	0.446	0.446
4	Light	3	15	TYPE-S	のびい	43.659	0.564	0.564
5	More	2	16	TYPE-S	RTE naomisan	43.850	0.755	0.448
6	More	3	20	SPL	たびお	44.157	1.062	0.755
7	More	4	28	TYPE-S	kero	44.177	1.082	0.775
8	Light	4	17	TYPE-S	やまと	44.316	1.221	1.221
9	More	5	26	MSV	めい	44.459	1.364	1.057
10	More	6	32	TYPE-S	Roxy	44.460	1.365	1.058
11	More	7	14	TYPE-S	ル～パアン	44.485	1.390	1.083
12	More	8	36	TYPE-S	Hiro - r	44.525	1.430	1.123
13	More	9	47	TYPE-S	ミラア	44.705	1.610	1.303
14	More	10	38	TYPE-S	Taku	44.768	1.673	1.366
15	Light	5	13	TYPE-S	CHABO	44.950	1.855	1.855
16	More	11	21	MSV2	あげまる	44.993	1.898	1.591
17	More	12	29	TYPE-S	れじ	45.141	2.046	1.739
18	More	13	52	MSV3	RTE よた	45.221	2.126	1.819
19	STD	1	34	STD 5MT	ばらち	45.307	2.212	0.000
20	More	14	35	MSV	おいちゃん	45.339	2.244	1.937
21	More	15	33	TYPE-S	JSG	45.353	2.258	1.951
22	More	16	41	TYPE-S	岩崎	45.479	2.384	2.077
23	Light	6	44	TYPE-S	waka2	45.562	2.467	2.467
24	More	17	43	TYPE-S	モッツ	45.582	2.487	2.180
25	More	18	30	MSV	あ～きん	45.773	2.678	2.371
26	More	19	46	TYPE-S	じま	45.848	2.753	2.446
27	More	20	25	TYPE-S	yu - pa	45.906	2.811	2.504
28	More	21	50	TYPE-S	あらとも	45.915	2.820	2.513
29	STD	2	40	STD	ナカジ	45.932	2.837	0.625
30	Light	7	48	TYPE-S	ちゃくりき	45.948	2.853	2.853
31	More	22	31	TYPE-S	りすのしっぽ	46.030	2.935	2.628
32	More	23	45	STD 5MT	T & S	46.094	2.999	2.692
33	More	24	39	TYPE-S	きはち	46.182	3.087	2.780
34	More	25	27	TYPE-S	シロクマ@エイト	46.216	3.121	2.814
35	Light	8	42	TYPE-S	ROYALE	46.853	3.758	3.758
36	Light	9	59	TYPE-S	スー	47.373	4.278	4.278
37	STD	3	51	STD 5MT	とくべ～	47.705	4.610	2.398
38	AT	1	54	TYPE-E 4	Delvecchio	48.701	5.606	0.000
39	AT	2	53	STD 4AT	さなぎんっ!	48.784	5.689	0.083
40	More	26	49	MSV	はっし～	49.454	6.359	6.052
41	More	27	37	TYPE-S	しえ@SE改	49.851	6.756	6.449
42	STD	4	58	STD 5MT	ネモ	50.820	7.725	5.513
43	AT	3	56	TYPE-E 4	やんま	51.409	8.314	2.708
44	More	28	55	TYPE-S	miro	53.221	10.126	9.819
45	Light	10	57	TYPE-S	SMJ - GNRL	53.548	10.453	10.453
46	More	29	18	TYPE-S	RTE mic	不出走		
47	More	30	23	TYPE-S	くりのぶ	不出走		
48	More	31	60	TYPE-S	まどう	不出走		

レースオプションのラップタイムは表彰対象外です

## RX-8 GrandPrix(レースクラス) リザルト

### 予選

Ps	クラス名	クラスPs	NR	車名	氏名	Lap	ベストラップ	トップ差
1	RX-8 GPLレース	1	4	TYPE-S	RTE re arai		42.453	
2	RX-8 GPLレース	2	3	TYPE-S	RTE さわじい		42.498	0.045
3	RX-8 GPLレース	3	6	TYPE-S	RTE みつ		42.676	0.223
4	RX-8 GPLレース	4	2	TYPE-S	RTE 爆走HANA		43.163	0.710
5	RX-8 GPLレース	5	5	TYPE-S	RTE ニッシー		43.578	1.125
6	RX-8 GPLレース	6	10	TYPE-S	RTE KOO		43.765	1.312
7	RX-8 GPLレース	7	8	TYPE-S	RTE ken rx8		43.778	1.325
8	RX-8 GPLレース	8	12	TYPE-S	RTE ミセガワ		43.927	1.474
9	RX-8 GPLレース	9	1	TYPE-S	RTE たるみ		44.361	1.908
10	RX-8 GPLレース	10	11	TYPE-S	風来坊		44.573	2.120
11	RX-8 GPLレース	11	9	TYPE-S	フォルテ		44.910	2.457
12	RX-8 GPLレース	12	7	TYPE-S	QYR		45.310	2.857

### 決勝

Ps	クラス名	クラスPs	NR	車名	氏名	Lap	所要時間	トップ差
1	RX-8 GPLレース	1	3	TYPE-S	RTE さわじい	10	07:17.362	
2	RX-8 GPLレース	2	4	TYPE-S	RTE re arai	10	07:20.283	00:02.921
3	RX-8 GPLレース	3	6	TYPE-S	RTE みつ	10	07:21.354	00:03.992
4	RX-8 GPLレース	4	2	TYPE-S	RTE 爆走HANA	10	07:21.776	00:04.414
5	RX-8 GPLレース	5	5	TYPE-S	RTE ニッシー	10	07:26.383	00:09.021
6	RX-8 GPLレース	6	1	TYPE-S	RTE たるみ	10	07:37.809	00:20.447
7	RX-8 GPLレース	7	10	TYPE-S	RTE KOO	10	07:38.151	00:20.789
8	RX-8 GPLレース	8	8	TYPE-S	RTE ken rx8	10	07:40.159	00:22.797
9	RX-8 GPLレース	9	9	TYPE-S	フォルテ	10	07:41.905	00:24.543
10	RX-8 GPLレース	10	11	TYPE-S	風来坊	10	07:44.914	00:27.552
11	RX-8 GPLレース	11	12	TYPE-S	RTE ミセガワ	10	07:45.776	00:28.414
12	RX-8 GPLレース	12	7	TYPE-S	QYR	10	07:50.594	00:33.232

レースオプション リザルト

予選

Ps	クラス名	クラスPs	NR	車名	氏名	Lap	ベストラップ	トップ差
1	Light	1	22	TYPE-S	あ～るXハチ おおかみ号		43.095	
2	More	1	19	TYPE-S	RTE てきどん201		43.402	0.307
3	More	2	16	TYPE-S	RTE naomisan		43.973	0.878
4	More	3	28	TYPE-S	ker0		44.222	1.127
5	More	4	26	MSV	めい		44.459	1.364
6	More	5	32	TYPE-S	Roxy		44.460	1.365
7	More	6	38	TYPE-S	Taku		44.837	1.742
8	More	7	33	TYPE-S	JSG		45.353	2.258
9	More	8	35	MSV	おいちゃん		45.415	2.320
10	More	9	30	MSV	あ～きん		45.985	2.890
11	AT	1	56	TYPE-E	やんま		51.409	8.314
12	More	10	18	TYPE-S	RTE mic		不出走	

決勝

Ps	クラス名	クラスPs	NR	車名	氏名	Lap	所要時間	トップ差
1	Light	1	22	TYPE-S	あ～るXハチ おおかみ号	5	03:45.546	
2	More	1	19	TYPE-S	RTE てきどん201	5	03:46.611	00:01.065
3	More	2	28	TYPE-S	ker0	5	03:47.926	00:02.380
4	More	3	16	TYPE-S	RTE naomisan	5	03:51.015	00:05.469
5	More	4	26	MSV	めい	5	03:54.219	00:08.673
6	More	5	38	TYPE-S	Taku	5	03:55.862	00:10.316
7	More	6	32	TYPE-S	Roxy	5	04:01.598	00:16.052
8	More	7	35	MSV	おいちゃん	5	04:04.775	00:19.229
9	More	8	30	MSV	あ～きん	5	04:05.741	00:20.195
10	More	9	33	TYPE-S	JSG	5	04:06.941	00:21.395
11	AT	1	18	TYPE-E	やんま	0	不出走	
12	More	10	56	TYPE-S	RTE mic	0	不出走	